

- ◇にしのみや市民祭りへの参加団体等を募集……2面
- ◇来年4月採用の市職員募集……3面
- ◇市営住宅の入居者募集……3面
- ◇年金特集……5面
- ◇こども観光ガイド講座の受講者募集……7面
- ◇保健だより……8面

●発行(毎月10・25日) / 西宮市役所: 〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798-35-3151(代表) ●ホームページ <http://www.nishi.or.jp/>
 ●編集/政策局市長室広報課 ☎0798-35-3400 ✉vo_kouhou@nishi.or.jp ●携帯サイト「ふるむ西宮」<http://www.nishi.or.jp/i/>



今村市長が所信表明

「すべては、あしたの西宮のために。」

6月定例市議会で今村市長は所信表明を行いました。その中で、文教住宅都市にふさわしい、公正で、持続可能な政治の実現を掲げ、重点を置く政策について述べました。今村市長の所信表明の概要を紹介します。



文教住宅都市にふさわしい政治を

西宮には敬意を払うべき歴史があります。文教住宅都市・西宮の歴史からもたらした役割を果たし、次の時代の政治へ繋(つな)ぐことこそが、私の使命です。西宮市は住みやすい住

宅地として愛されてきました。しかし、急激なペースの人口増加に加え、共働き世帯の増加や高齢化の進展などに行政サービスが追いついていません。こうした中で、限られた経営資源を効率よく活用した行政運営を行うべく、

アサヒ ビール西宮工場 跡地活用を白紙撤回

工場跡地における公共施設の移転整備を目的とした土地の取得は白紙に戻します。別の用途であ

っても積極的に市が土地を取得することは考えていません。跡地活用は、今後、民間の資金とアイデアを主体に進

子育て・教育

子供の育ちにより環境を構築

全ての子供の育ちにとって、よりよい環境を提供するために、校区ごとに公園や児童館など児童関連施設の設置状況を把握し、適正な配置を進めます。その中で、必要に応じて学校施設や公民館等の活用を検討し、子供の居場所を確保していきます。

また、学校現場にある諸課題をより機動的に解決できるように体制を整えていきます。各学校の食物アレルギー対応などについては、市内統一様式「学校生活管理指導表」を活用して各学校が組織的に管理を引き継ぎができるよう、検討していきます。

さらに、より多くの子供たちに、安全・安心で質の高い放課後の育ちの場を提供するために、「留守家庭児童育成センター」と「放課後子ども教室」のそれぞれの役割を生かした運営の一体化を目指します。また、放課後に安全で自由な遊び場を確保するため、全小中学校で校庭の開放を進めていきます。

公正で効率的な行政運営

公共サービスの在り方においては、民間活力の積極的な導入を図ります。

本市職員の給料は国や他の地方公共団体および民間と比べても高い水準にあるため、高年齢層職員の給与構造、および労務職給与水準などについて見直し、管理職手当を定額化します。また、技能労務職員の今後の採用は、各業務

医療

救急・小児医療と高齢者の在宅療養体制を整備

まずは市内の医療課題を把握するために、広範な医療関係者に意見を求めて議論していただく場を設置します。この議論を踏まえて、深夜帯の救急医療や不足医療、高齢者の在宅療養を可能にする体制の整備等、医療課題の解決に向けて検討するとともに、医療政策を統括する部門の設置を考えていきます。

本市では小児診療の深夜帯の体制整備が喫緊(きつぎん)の課題です。今後の応急診療所の在り方について指定管理者である西宮市医師会とも協議していきます。

また、他市の医療機関の利便性が高い北部地域については、他市の医療機関を受診する際のアクセスや費用負担の軽減等を検討していきます。

また、地域との信頼関係の構築や効率的な施策展開を図るため、縦割り行政を見直し、例えば、校区などのエリアごとに地域福祉が実現できるように体制の確立を目指します。

防災

津波・大雨に備える力を

近い将来に発生が懸念されている南海トラフ巨大地震については、これまで、国や県において、地震・津波に伴う浸水被害想定等の検討が行われてきました。本市としては、防潮堤の整備など、県の津波対策が着実に実施されるよう要望するとともに、最新情報

の入手に努め、市として有効な津波対策の検討を進めていきます。今後は、より積極的な情報の周知に努めるとともに、災害時要援護者の支援対策など市民の被害を最小限に食い止めるためのさまざまな取り組みを適切に進めます。